

## 86 主イエスを喜ぶことは

主イエスを喜ぶことは あなたの力です  
感謝をささげることは あなたの力です

朝に夕にとこしえまでも  
王なる主をたたえましょう  
朝に夕にとこしえまでも  
王なる主をたたえましょう

# 147 「主よ感謝します」

主よ感謝します 今のこのときを  
こころみの中にも 主の平安がある  
なにが(なにが) わたしを(わたしを)  
主から(主から) はなすのか(離すのか)  
悩みか(なやみか) 苦しみか(苦しみか)  
飢えか(うえか) つるぎか(つるぎか)  
なにものも私を はなすものはない  
主の深い愛から はなすものはない

## 新聖歌4番 「小羊をば」

- 1 小羊をば ほめたたうる たえなるものの音(ね)  
天(あめ)に聞こゆ いざみ民よ 恵みの主に  
栄えの冠(かむり)を ささげまつれ
- 2 み使いらも うちふすまで わが主の御傷(みきず)は  
てりかがやく いざみ民よ 救いの主に  
栄えの冠(かむり)を ささげまつれ
- 3 戦いやみ 矢さけび絶え 祈りと歌との声はひびく  
いざみ民よ 平和の主に 栄えの冠を ささげまつれ
- 4 空のきわみ地の果てまで みいつの光は照り渡りぬ  
父と共にしらす君に 栄えの冠をささげまつれ アーメン

## 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌49番 「しみも咎(とが)も」(聖餐式)

- 1 しみも咎(とが)も 汚れもなき  
小羊わが主は ほふられしや
- 2 こは わがため 十字(じゅじ)の上に  
釘(くぎ)もて裂かれし みからだなり
- 3 こは わがため のろい受けて  
流させたまひし 君(きみ)が血なり
- 4 こは わがため 与えたもう  
いのちの糧(かて)なり 飲みものなり
- 5 なつかしくも 見失(う)せし主は  
まもなく再び 来たりたまわん
- 6 その時まで 十字架を負(お)わん  
救いの恵みを 喜びつつ                      アーメン

新聖歌398番 「新しき地に」

1 新しき地に 踏(ふ)み出(い)だす  
心にそなえ ありや見よ

\* ヨシュアのごとく われも言わん

「わが家(や)とわれは 主に仕(つか)えん」

2 試(こころ)みしげく ありと聞く  
恐るる心 無(な)きや見よ \* (くりかえし)

3 むらがる仇(あた)も 何かあらん  
先だつ君(きみ)は イエスなれば \* (くりかえし)

4 取るべきところ なお多し 心強くし かつ勇(いさ)め  
\* (くりかえし) アーメン

## 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン